

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	イタチガ沢最終処分場整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	水道環境部	課等名	環境課	内線	5240	1	4	2	2	12	1
政策体系上の位置付け	政策	環境・循環型まちづくり				関連計画、条例等	廃棄物処理法				
	施策	廃棄物対策の推進									
	基本事業										
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続								
事業期間	13年度～	22年度	環境調整会議の必要性	なし							

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを旨とします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	市内から収集される埋立ごみ	埋立ごみ量(t/年)	当初(15)	17年度	3790	
			16年度	2955		
			当初(15)	17年度		
			16年度			
	意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)			
埋立ごみを安全で安定して効率的に処理する	単年度の埋立ごみ量(t/年)	当初実績(15)	最終目標			
		16目標	3830	16実績	2955	
		17目標	3790			
		当初実績(15)	最終目標			
		16目標	16実績			
		17目標				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	家庭より排出される埋立ごみを安全に運搬・処理し、処分場を安定した状態に保つための運営、整備、維持、管理及び、幹線市道(集落間の相互連絡の主たる道路)2-69号線船渡高森線の拡幅改良工事。	16年度の実績 最終処分場の運営、整備、維持、管理。 ・機械類の点検・修繕、場内排水路整備、水処理施設の維持管理等。 埋立ごみの減量化、資源化のための市民への働きかけ。 ・市民を対象とした施設見学の実施等。 拡幅改良における測量設計、工事施工、用地買収。	埋立廃棄物量(t/年)	2955
	17年度計画	最終処分場の運営、整備、維持、管理。 ・機械類の点検・修繕、場内排水路整備、水処理施設の維持管理等。 埋立ごみの減量化、資源化のための市民への働きかけ。 ・市民を対象とした施設見学の実施等。 拡幅改良における測量設計、工事施工、用地買収。		

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額	
事業費	特定国庫支出金	0		0	
	特定県支出金	0		0	
	起債	0		0	
	その他	0	6,074	6,000	
	一般財源	19,607	11,197	13,618	
事業費計(A)		19,607	17,271	19,618	
人件費	正規職員所要時間	1,800	1,800	1,800	特定財源内訳
	臨時職員等所要時間	3600	3600	3600	
	人件費計(B)	10,364	10,364	10,364	
	トータルコスト A+B	29,971	27,635	29,982	

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	周辺環境が保全され、ごみが適正処理される。	埋立ごみ全体・埋立以外の量/全体埋立ごみ(%)	16目標	80	16実績	53.6
			17目標	80		
			16目標	16実績		
			17目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
旧毛呂窪処分場が昭和63年3月に閉鎖され、当処分場が昭和63年3月供用開始された。埋立ごみの適正処理のため、管理型処分場として開設した。	開始以来16年を経過し、大きく埋立ごみの資源化・減量化が図られているが、組成調査の結果によっては再度市民への働きかけを行うべきだ。平成11年12月施工のごみ処理用負担制度により5%程度の減量。平成19年3月まで再々契約の延長をしている。	・処分場地元住民にはごみの減量を求められている。 ・市民も処分場の大切さをよく理解している。 ・次の処分場を心配している。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)	有効性評価 廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)		(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由)	効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 不可能 (その理由)
		公平性評価 受益者は誰か? 負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由)	

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	跡地利用のプランを地元関係者とよく協議し決定する。 時期(年度) <input type="text" value="22"/>	